



# 市民のひろば

## 掲示板

◆ありがとうございます！やなせたかし先生 おかえりなさい！

昨年10月に亡くなられた

やなせたかし先生に感謝の

意をこめて「ありがとうございます！

やなせたかし先生 おかえりなさい！」の会を開催し

ます。

本会は、やなせたかし先

生の生前の意向により、来

場者が楽しめる会としてい

ます。

なお、誠に勝手ながらご

香典・ご供花・ご供物は固

く辞退申し上げます。



(山田高校マンガ部)

## 編集後記



▼今月号から新年度のスタートに合わせ、誌面をリニューアルしました。前回のリニューアルから丸4年。先月号までの表紙には、郷土愛が育まれればと、上部に市のキャラクターと、それに合わせた香美市の風景や特産品などの写真を配置していただきました。今月号からは写真主体の表紙に。配色は季節や表紙の写真に合わせて変わっていきます。タイトル「Kamii」の上にある「香美」は、創刊号から表紙のタイトルを飾ってきた香美市の書家・岡崎桜雲先生の書です。これからも、市民の皆さんに読んでもらえるように、また、行動につながる誌面作りにも努めていきますので、よろしくお願ひします。

(市広報委員会)

◆茜屋出雲流 松京香会  
【舞踊の会】  
【日時】4月20日(日) 12時開演  
【場所】香美市立中央公民館  
【入場料】無料  
【問い合わせ先】茜屋出雲流 松京香会  
井上 幸  
☎090・6287・1797

【日時】4月19日(土) 13時～15時  
※12時30分開場  
【場所】県民文化ホール(オレンジホール)  
※スペースの都合上、ペビーカーの持ち込みはご遠慮ください。  
【参加方法】入場整理券が必要。4月16日(水)・17日(木) 9時30分～17時に、アンパンマンミュージアムで先着500名に配布し

【日時】4月19日(土) 13時～15時  
※12時30分開場  
【場所】県民文化ホール(オレンジホール)  
※スペースの都合上、ペビーカーの持ち込みはご遠慮ください。  
【参加方法】入場整理券が必要。4月16日(水)・17日(木) 9時30分～17時に、アンパンマンミュージアムで先着500名に配布し

## おたんじょうびおめでとう



今月満1～3歳の誕生日を迎えるお子さんをご紹介します。

ご応募をお待ちしています



※◎は土佐山田町、◎は香北町、◎は物部町です。  
掲載を希望される方を募集しています。詳細はお問い合わせください。締切日は誕生月の前月1日まで。  
問 総務課 ☎53-3112



※当日、11時～15時にエントランス・ロビーで、メッセージ記載、やなせたかし先生の功績を振り返る展示を行います。こちらは入場整理券は必要ありません。  
【主催】やなせたかし先生を偲ぶ会実行委員会  
【問い合わせ先】生涯学習振興課 ☎53・1082

題に不法を訴えている。南北朝時代の土佐では、北朝方に立仙神社の氏子である香宗我部氏や須留田氏(赤岡町)が属し、暦応3年(1340)、南朝方の大高坂松王丸を討った。氏子側は神田横領の怨みを晴らしたのであった。  
被山風土記には、土居の一字小三郎の系図がある。三人兄弟で、長男は別役領主、二男は根木屋領主、三男は一字領主となったが、互いに勢力争いをしたらしく、長男岡本彦九郎が一字城を攻めて小三郎の首を落とした。一子勘解左衛門は、伯父根木屋某の助太刀を得て彦九郎の首を落としたとある。



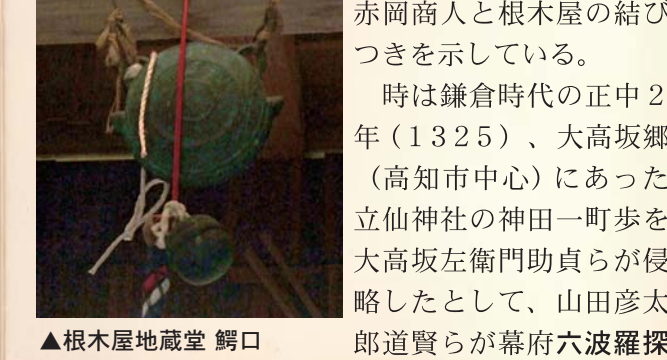
▲地蔵堂ミニ二十八ヶ所



長宗我部の時代には、根木屋助二良が一町五畝を給地され、土居屋敷に居住していた。地蔵堂境内にはミニ二十八ヶ所石仏59番～61番線刻重弧蓮座紋石仏がある。(香美史談会)

香美史 探訪記 第57回 根木屋地蔵堂と土居 (物部町根木屋)  
根木屋地蔵堂は、土居屋敷のフロノ谷(かまど)にあって、右上段には氏神の竈戸神社が鎮座している。長宗我部地検帳では、根木屋村には9戸があって、竹ノ平・須賀井・連合・野久保に住家があった。土居屋敷は、「シカ谷ホキ土居カケテニ反内六畝田分」とあり、ここが村の中心地であった。

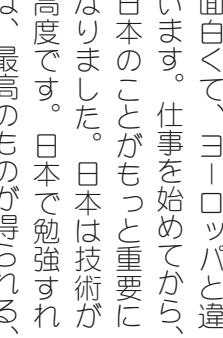
地蔵堂は、貞享年間(1684～87)の差出し帳に九尺四面のカヤ葺とあり、村人平兵衛が寄進した寛文13年(1673)の鰐口が残り、「奉掛 立仙大明神 于時 寛文十三癸丑年八月朔日 土州香我美郡赤岡西濱 畑村少三郎」と書かれている。立仙神社は、香宗土居にあって、鎌倉～室町時代に香宗の地頭領主であった香宗我部氏の氏神であった。このことは香宗我部氏の勢力の浸透と、赤岡商人と根木屋の結びつきを示している。



▲根木屋地蔵堂 鰐口

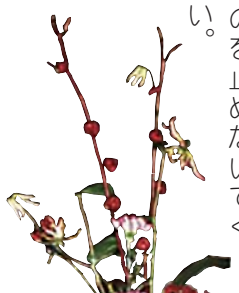
時は鎌倉時代の正中2年(1325)、大高坂郷(高知市中心)にあった立仙神社の神田一町歩を大高坂左衛門助貞らが侵略したとして、山田彦太郎道賢らが幕府六波羅探

## ただいま 留学中 No. 83



皆さんこんにちは。エイゼンタル・ペテリスと申します。日本語ではピーターです。ヨーロッパ北東にあるラトビアから来ました。ラトビアは小さい国です。国の面積は日本の六分の一。人口は200万人ぐらいです。高知工科大学大学院博士後期課程で知能制御を勉強しています。趣味はスポーツと科学です。ラトビアでみんなに聞かれました。「なぜ全てを残して、日本へ行くの?よくて面白い仕事と家族、友達を残して」と。自分でも分からなくて、答えられませんでした。子どもの時から日本が面白いと思っていました。情報は少しだけだったから日本は魔法と神祕のオーラを持っていました。侍も武士道も武道も日本庭園も建築も、全部とても

面白くて、ヨーロッパと違います。仕事を始めてから、日本のことがもっと重要になりました。日本は技術が高度です。日本で勉強すれば、最高のものが得られる、獨創性のある技術開発力が身につくと思えました。ある日偶然、高知工科大学のウェブページで特別奨学制度を見つけ、すぐ申し込みました。合格してとてもうれしかったです。私の夢が叶いました。もう4カ月ぐらいになりますが日本が日々もっと好きになっていきます。特に山が好き。ラトビアには山が全然ありませんから。香美市の皆さんに望みが一つだけあります。それは、どんなに不可能なようにみえても決してあなたの夢を追うのを止めないでください。



◀ 昨年11月秋季いけばな県展、自作の前で